

行革は情報公開、説明責任、住民合意が重要 委員会審査を前に市長や教育長に対して総括質疑



第5次行政改革の総括

私は、「『第5次行政改革大綱等が最終年度を迎えたことから、これまでの施策や取組を総括』とあるが、どのように総括しているか。特に、『関係者への丁寧な説明と納得を得ながら進める』点でどうであったか」と訊きました。

村山市長は、「行政改革の取組は、市民の信頼を得るためのものであることをご理解いただくことが肝要。例えば、施設の廃止については、十分納得いただくことを旨に進めてきた」と答えました。

私は「市長は行政改革で大事なこ

9月議会2日目の4日、私は日本共産党議員団を代表して、第5次行政改革の総括、昨年度の一般会計決算、会計年度任用職員制度にかかわる条例などについて総括質疑を行いました。以下、主なやりとりの概要です。

は情報公開と説明責任だと言われた。私はそれに加えて住民合意が重要だと思う。だから、第5次行政改革は、その点、それぞれの具体的事業でどうであったかをしっかり総括すべき」と訴え、再度質疑しました。

要援護世帯除雪費助成事業

要援護世帯除雪費助成事業についての平成30年度目標は、「親族要件の廃止や助成対象となる除雪範囲の見直し後の実績等を検証し、助成限度額等の見直しについて検討を行う」でした。私は、「検討は終わっていない。なぜ検討が終わっていないのか。また、検討はいつまでに終わるのか」と訊きました。

市長は、「昨年度、29の町内会において、助成限度額を超えた世帯の除雪費の実態について調査を行ったが、同じ地区内であっても除排雪の場所や方

法などが一様でなく、除雪費用が大きく異なる状況も認められることから、合理的な答えを導き出すまでには至っていない」と答えるに留まりました。

上越体操場の交通環境整備

市立上越体操場工事は昨年度に着手され、現在も進められています。私は、「大湯区地域協議会などで要望のあった交通環境整備などについては、どのように検討されてきたのか」と訊きました。

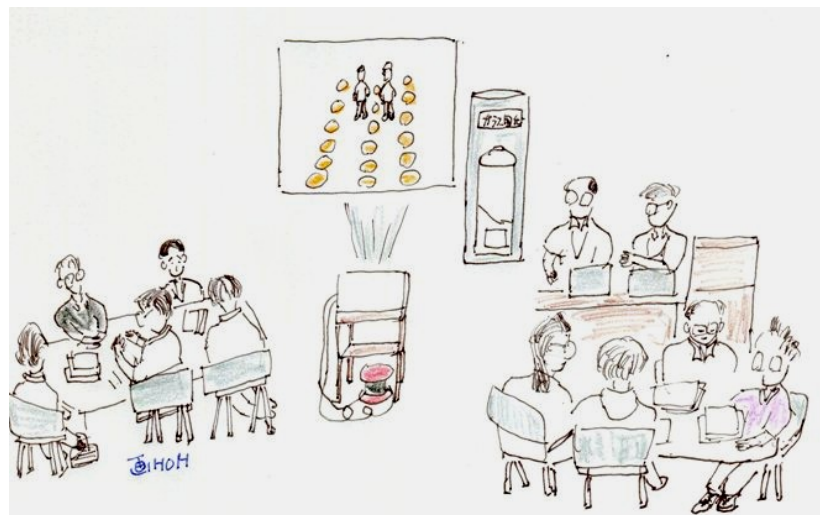
野沢教育長は、「道路の幅などの道路改良については、現時点では想定していない旨を回答し、ご了解をいただいている」と答えました。

これに対して私は、「大湯区地域協議会の今年8月の答申にも交通環境の要望がある」と指摘し、その実現に努力するよう求めました。



【オトコエシ】再掲。オミナエシ科の多年草。茎には毛が生えています。漢字で「男郎花」と書きます。オミナエシに似ていますが、色は白です。花期は8月～10月。いま、市内の平場でも山間部でも道のそばに咲いていますのでご覧ください。花言葉は、「野生味」。写真は8月半ば、松之山にて撮影。

いくつかのグループに分かれての質疑では、「ごり押ししないというなら、原発交付金のようなお金を出すのはいかがなものか」「暫定埋設ではなく、最終処分だ。これでいいと多くの科学者の判断がなっているでしようか」など批判と疑問の声が次々と上がっていました。そもそも、原発を稼働させ、「核のごみ」を出しながら、「核のごみ」処分の検討をするなんておかしいですね。



「核のごみ」地層処分説明に疑問や批判の声次々

原子力発電環境整備機構（NUMO）は8日、「核のごみ」の地層処分を進めようと、「核のごみ」の処分地として「好ましい地域」と「好ましくない地域」を区分した地図、「科学的特性マップ」についての説明会を上越市で開きました。参加者はマスクを除去と30人弱でした。地層処分についての映像を見た後、担当者から概要説明を聞きました。地層処分事業は4万本以上のガラス固化体を地下300メートルに埋設することですが、費用は約3兆8000億円もかかるということです。驚きま

はしづめ法一の
活動レポート

No.1924 2019.9.8
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第五七三回

タネを守り続けて

先日、板倉区の間部に住むキヨウヘイさん夫婦が六〇年も七〇年も白瓜のタネを守り続けているという、興味深い情報を耳にしました。このお二人は私も知っています。聞いた瞬間からそわそわしました。数日後、キヨウヘイさん夫婦を訪ねました。

その日、キヨウヘイさんの家の近くの橋を渡ると、右側の畑のそばで仕事をしている女性の姿が目に入りました。キヨウヘイさんのお連れ合いであるキヨエさんです。

「橋爪です。おまんちの白瓜のこと、聞きたくてやってきました」と言うので、すぐに白瓜を栽培しているところへ案内してもらいました。

白瓜の畑は幅三呎、長さ五呎くらい。たぐさんのツルがはっていましたが、植えた苗は六本だけのことでした。すでに最盛期は過ぎていたものの、いくつかの瓜の姿が見えました。キヨエさんは、「もうはい、時季過ぎちゃったすけさ、春時いて、お盆のころが最高においしいんだでも……」と言っておられました。そして、「これ、タネなんですわ」と言って、ひときわ大きな白瓜を指差しました。

キヨエさんの言う「タネ」と言うのは、タネをとるために完熟させている瓜のことです。このタネ瓜は一般の白瓜よりもひと回り大きく、長さも四〇センチ前後ありました。表面には細かい網をかぶせてあります。キヨエさんによると、これはカラスヤタヌキ等によってタネをなくされないようにと考えての対策だということでした。

白瓜だけではないと思いますが、タネをとるには適期(てつき)があります。キヨエさんによると、「ほぞぬけるまでにならないと、タネになってないの。タネが若いとダメ。実、よってくと、だんだん、マクワみていい匂いしてくる」とのことでした。さすがは何十年も作り続けた人の

説明です。よくわかりました。

タネ瓜の説明が終わったところで、キヨエさんは、食べるにはちょうどいい感じの白瓜を一個もぎ、実そのものについても説明してくださいました。

「これね、どういんだかしらんけど、いまの白瓜と違ってね、皮、うっすいしね、むかんでもいい。実もやわらかいの」

私の目には、現在、広くつくられている白瓜とほとんど同じです。つい、「そんなも、なんかしるがでしょ」と訊いてしまいました。

キヨエさんは、手に持った白瓜を私に見せながら、「はい、このまんま、へんなどこ取って、真ん中から割って、スプーンで取ると、中さ、きれいになるすけさ、ジユグジユグときざんで、一晚冷蔵庫に入れとくと、食べられるんだだけだね」と言いました。「ジユグジユグときざむ」、思わず微笑んでしまう面白い表現ですね。

この白瓜については歴史があります。キヨエさんは語りました。「おれの姑さん、つくっていなすったんですわ。おれね、二九年に嫁に来て、そんなとき、ばあちゃん作っていなすったんだだけね、二年経ったら、ばあちゃん、八年寝た切りのチュウキになっちゃって……」。この伝統ある白瓜はいま、三軒しか作っていないそうです。

二九年と言えば、いまから六五年前のことです。キヨエさんの姑さんの代から、ひよっとすれば、その前からこの白瓜は作られていたのかも知れません。他の品種と交配させないようにしながら、何十年もタネを守り続けてきたとはすごいですね。

キヨエさんは、いま九一歳。九三歳のキヨウヘイさんとともに元気です。キヨエさんは最後に、「このつるたぐりのヘンクリ、食べてみなんねかね」そう言って、私に白瓜を四個もくださいました。

消防フェスティバルは子どもに人気

8日は上越地域消防事務組合のフェスティバルでした。今回も大勢の親子連れが訪れていました。ロープを使った救出訓練、消火訓練など体験コーナーが人気でした。現消防本部での消防フェスは今回が最後です。新消防本部でも続けてほしいですね。



市内各中学校で体育祭

市内の中学校の多くは7日が体育祭でした。私も吉川中体育祭に1時間ほど出かけてきました。全校種目の「台風の目」、「障害物リレー」「3人4脚リレー」などで応援しました。テント内での応援でしたが、気温は37度を超える猛暑、ときたま流れてくる風が気持ちよかったです。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月4日(水)	9月11日(水)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.053	0.050
東頸消防署	0.047	0.047
高士分遣所	0.043	0.047
名立分遣所	0.057	0.053